

ガザの人質 50人解放へ

イスラエル・ハマス合意

イスラエルとパレスチナ自治区ガザ地区を実効支配するイスラム組織ハマスは22日、イスラエル人の人質50人の解放と引き換えに戦闘を4日間休止することを発表した。両当局などが発表した。イスラエルはパレスチナ人辱刑者150人を解放する。人質の解放は早ければ現地時間の23日朝にも始まる見込み。▼2面=秘密裏に交渉、9面=BR-COSが首脳会議、10面=社説

交渉はイスラエルと事実上の同盟国である米国もカタールが仲介役となりて進められた。ハマスは10月7日のイスラエ

4日間の戦闘休止

ルへの急襲時に約240人をガザに連れ去ったとされる。

各政府などの発表によると、ハマス側は民間人の女性や子ども（19歳未満）を各日10人程度、戦闘休止の4日間で計50人解放する。休止期間は延長の可能性があり、1日延びることに追加で10人が解放される。人質は、



イスラエルで20日、人質解放を求める集会が開かれ、人質となっている子どもの写真が貼り出された=AFP時事

区ヨルダン川西岸地区を含めて數千人のパレスチナ人辱刑者を抱えている。ガザでは金日、上空での活動も止める。

期間中、イスラエル軍はガザで誰も拘束しない。ガザを南北に貫く「サラハティン通り」で、北から南へ避難する人の安全を確保する。人道支援物資の搬入も拡大する。物資には、燃料や医療機器も含まれる。

交渉では、バイデン米大統領が、戦闘休止に消極的だったイスラエルのネタニヤフ首相と14回の協議を重ねた。ガザの

死者が1万4千人を超える、イスラエルへの国際的な批判も高まるなか、最終的に脱穀に成功した。

米高官によると、10月後半の米国人母子の人質解放の成功で、国際人道機関を通じて安全に人質を移動することが可能だと確かめられた。

イスラエル国内では、人質解放が進まない政府への不満が高まっている。一方、政府は戦闘の一時休止には同意していた。一方、政府は戦闘の続ける姿勢は崩していない。ネタニヤフ氏は21日、「我々は戦争中でありこれからも戦争を続ける」と述べた。

（エルサレム=東京、ワシントン=AP）